

小動物舎の仲間たち

(季節で変わる
レシピ)

小動物舎には、6種類の動物がいます。

全頭、共通のごはんはトリ肉です。果物も与えますが、種類によっては食べる個体もいれば食べない個体もいます。夏は毛刈り食べますが冬は運動量が少いため食欲にムラがあります。このように季節により食べる種類と量を考え、与えなければならぬところが飼育者にとって重要になり苦労するところでは。

ホンドオン

おしり(メス)オス



バナナは大好物だが
リンゴ・オウツは苦手。

ニホンアゲマ

おしり(イメ)オス



リンゴ・バナナ・オレンジは
好物ですが
冬は毛刈り食べません

ホンドキツネ
おしり(ケン)オス



大好物はリンゴです。
バナナ・オレンジも好む。

アライグマ オス
おしり 考之中です



リンゴ・バナナは好物だが
オレンジは苦手です。
冬はリンゴも食べない時。

ハクビシン

おしり モコ オス
ツミメ オス
イチコ オス



好物はバナナ、
春は果物を
リンゴも食べる。

おしり(ホコ)オス



ホンドタヌキ

果物を好む。
リンゴも食べる。

小動物舎にいる

動物の繁殖事情！

	交尾期	妊娠期間	出産時期	子の数
ホンドタヌキ	1-4月	約2か月	4-6月	1-6子
ハクビシン	2-5月	約2か月	4-7月	1-5子
アライグマ	2-4月	約2か月	4-6月	1-7子
ホンドキツネ	12-2月	約2か月	3-4月	2-7子
ニホンアナグマ	2-4月	10-11か月	2-5月	1-4子
ホンドテン	7月	8-9か月	3-4月	2-5子

出典：新・飼育ハンドブック -資料編-
公益社団法人 日本動物園水族館協会 2005年

妊娠期間に大きく差のある動物種もいますが、
小動物舎にいる動物は、春先に出産する
子どくさん
という共通点が見えてきます

「繁殖する」ということは、そこで生活する個体が増えるということ！

動物種によっては、子どくさん♡

子は成体で親離れをする時期がきます。

群れの仲間として、親と一緒に過ごす動物種もありますが、成体になると単独で生活し、繁殖期のみペアを形成して過ごす動物種もあります。
そのような場合、個体が独立して過ごすスペースが必要なのです。

他の動物園に搬出できれば良いのですが、引き取り先が見込めない場合は繁殖しないような努力が必要になってきます。

動物の繁殖を考えたとき、「スペースがあるかどうか…」も重要



繁殖制限のために

- 雄雌を別けて飼育する
- 薬を利用して雌の発情を抑制する
- 玄勢などの外科手術を行う

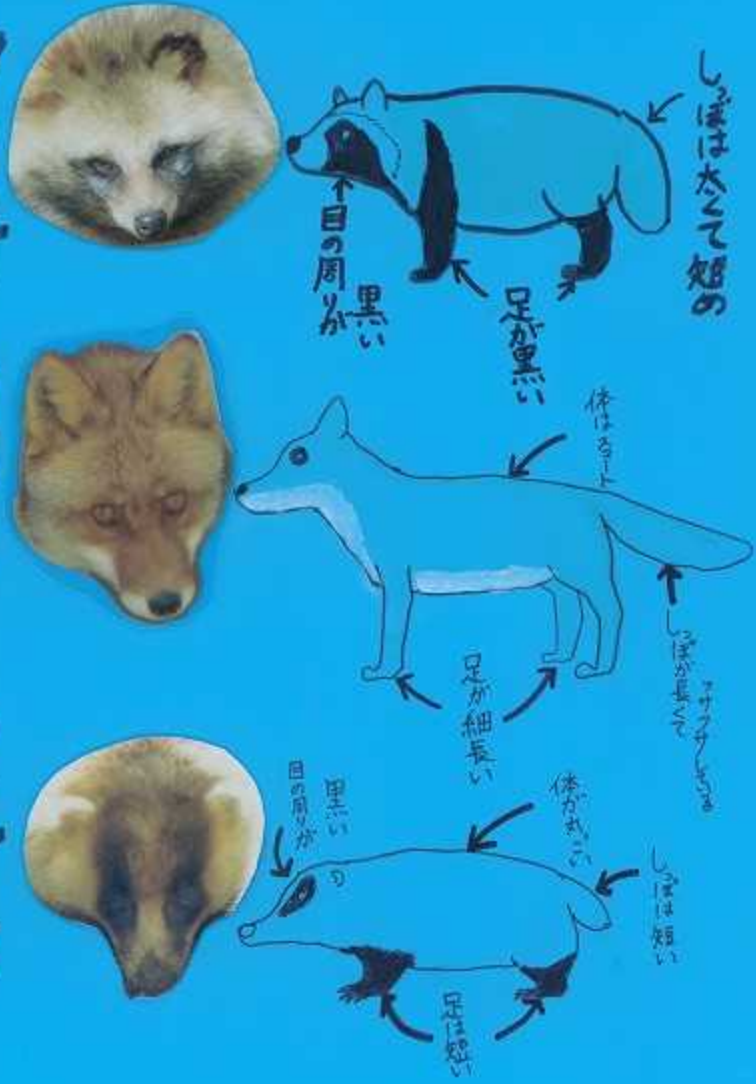
などがあります

小動物舎の動物は高齢であるため、快適な老後生活をめざして飼育しています。

たまに夜道で動物を目撃することってありませんか?でもそれが何者なのかわからないままではありませんか? そんな時のために夜道で見かけそうな動物たちの特徴を教えたいと思います!!



タヌキ
キツネ
アナグマ



ハクビシロ
テン
イタチ

